南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
みなみ・みどりのわくわく教室		南区役所区政企画室			
事業目的	事業内容	活動指標	R5	R6	
区内の認定こども園・幼稚園などのこどもを対象に、農体験や自然観察など、区内の緑空間を活用した自然体験プログラムを提供し、南区の地域資源である「みどり」への愛着を育む。	農作物の種まきや収穫の体験、生育過程や生き物の観察、食育講座などを組み合わせた自然体験の総合プログラムを、認定こども園・幼稚園等、農家、大学、区役所の4者共創により、園の環境に応じた多様な形態で提供する。	参加園数	2	4	
		保護者へのアンケート調査 <small>(「プログラムを通して、こどもの食べ物や生き物への興味や関心が高まったと回答した割合」(%))</small>	100	93	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 南区の地域資源である緑空間を活用した体験であり、区内の認定こども園・幼稚園の園児を対象に、豊かな育ちやふるさと意識の醸成に向けて事業を推進していることから、区として実施する妥当性は高い。	◎ 認定こども園・幼稚園等、農家、大学、区役所の4者共創により実施しているため、協働性は高い。	◎ 南区の地域資源である豊かな緑空間を活用した事業となっており、農家、大学、区役所など関係者の特徴や強みも事業に取り入れることができている。 また、栄養士による食育講座を実施したり、自分で収穫した野菜を食べるなど食育にもつながっている。	○	南区役所が事業の企画を行っているが、体験当日は農家が主体で運営し、大学が体験のサポートを行う等、関係者の協力により効率的に事業を実施できている。	
⑤自立発展性	総合評価				
○ 体験当日は農家が主体で運営し、食育講座も保健センターの栄養士が企画運営を行っている。また、体験回数を重ねるごとに関係者にノウハウが蓄積されることから、自立発展性は高い。	◎ 南区の地域資源である緑空間を活用できおり、農家、大学、区役所など関係者の特徴や強みも事業に取り入れることができている。また、体験できる野菜の種類を増やし、農家による園でのお話も実施するなど、幼稚園・こども園がより参加しやすいような改善も行われている。 そして、参加した園児の保護者を対象としたアンケート調査の結果、「プログラムを通して、こどもの食べ物や生き物への興味や関心が高まった」と回答した割合も高く、満足度の高いプログラムを実施することができている。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	認定こども園・幼稚園等、農家、大学、区役所の4者共創により事業を実施しており、アンケート調査の結果から本事業がこどもたちの豊かな育ちにも貢献できている。今後も、認定こども園・幼稚園がのニーズを調査しながら、「豊かな育ちの実現」や「豊かな恵みの提供」という観点で事業を改善し、認定こども園・幼稚園がより参加しやすい事業をめざしていく。				